

幸せを感じられる人間になる

和邇小学校を卒業する77名の皆さんは、周囲と協働しながら、自分の良いところ、相手の良いところを認め合い、時にはぶつかり合い、激動の6年間を切磋琢磨しながら生活してきました。小学校生活の随所で見られた、相手への思いやり、人へのやさしい心遣い、そして、あきらめずに粘り強くやりきる姿は、ご家族や地域の皆様の温かいご支援の賜物であり、私にとって大きな励みとなるものでした。

そして、そんな6年生と共に毎日生活した1～5年生の在校生の皆さんは、先日の「6年生を送る会」への取組に代表されるように、想いをめぐらし、心を込めて準備と本番に向かい、立派に成功に導いてくれました。もうすでに、卒業生の巣立った後の和邇小学校を立派に引き継いでくれる力強さを感じました。

「どうせ無理をなくしたい」、これは植松努さんの言葉です。創立150周年記念特別企画として、植松努さんが講演会の中で全校の子どもたちにやさしく訴えてくださった言葉です。

「どうせ無理」は、私たちの希望をなくす言葉であり、やらなくても良い言い訳の言葉です。人は夢や希望を持ち続け、失敗を恐れずやり続けることで、何かを得ることができます。人と比べる必要はありません。ありのままの自分を受け入れ、うまくいなくても、様々なことに挑戦する、時には自分の弱さをさらけ出し、苦しい時やつらい時には周囲と気持ちを分かち合う、そんな姿を目指したいと思います。

教育の世界にも「ウェルビーイング」という言葉が浸透してきました。「幸福」の追求と訳されています。自分自身が幸せだと感じると、学びのパフォーマンスが向上するという意味です。自分がやりたいことが2つあって、1つできたとき、「1つしかできなかった」と思うか、「1つでもできて良かった」と思うか、幸せの感じ方は、受け止める側の考え方によって変わります。幸せを感じられるように生きていくのも、大切な力なのかもしれません。

PTAの役員の皆様には、新しい時代に適応したPTA活動の在り方を検討され、和邇小学校の子どもたちのためにお力添えをいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今をたくましく生きる子どもたちのために、今後とも温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 澤村幸夫

一年間ありがとうございました



ベルマーク

ベルマーク活動にご協力ありがとうございました。
今年度は、図書室の本を19冊購入しました！
今後ともご協力よろしくお願ひします。



卒業記念品

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！
「一瞬、今この瞬間を大切に」
これからの中学校生活も輝かしいものになりますよ
う、心よりお祈り申し上げます。



PTA活動の終わりに

和邇小学校のPTA会長として運命の悪戯で選ばれてしまいましたが、この1年間はさまざまな形で学校と関わることができました。その間、同じように選ばれたPTA役員の方々、澤村校長先生、齋藤教頭先生、教務の佐々木先生へ心から感謝申し上げます。この素晴らしいチームと共に過ごした時間は、私にとって本当に貴重なものでした。また各地区の子どもたちの登下校の安全に積極的に関わっていただいている地区委員の皆さんとボランティアの方々にも感謝申し上げます。

PTA活動は、確かに忙しい日々が続くこともありましたが、その中で学んだこと、経験したことは言葉に尽くせないものがあります。関わってみないとわからない、という言葉が本当に当てはまることを感じました。子供たちの成長や笑顔、そして皆さんの温かいサポートを通じて、私自身も成長することができたことに心から感謝しています。この活動で得た経験は、私の人生において大きな宝物となりました。皆さんと共に過ごした時間は、私の心に永遠に残るものとなるでしょう。本当にありがとうございました。

この文章を読んでいただいた皆さんが今後も素晴らしい未来を築いていくことを心から願っています。最後に、改めてこの素晴らしいチームと共に活動できたことを誇りに思います。本当にありがとうございました。心からの感謝を込めて。